2023年度 02

今日の授業では、1回目で教えてもらったとおりに予習をしノートをとった。
少しはしれ、授業が理解しやすいと感じた。これからも続けていきたい。

第一回目の授業の時に教わった「ノートをとる」ということを他の授業でも実践しています。 すばらしい!
ノートをとることは、後で見返せるということもありますが、その授業の内容が頭に入ってきやすいと感じました。授業の内容を自分の言葉でノートに書き出すことが、とても重要と

教授が講義を始める際「年になれば忘れてる」→大学生になって沢山の刺激を沢山もらい、自分を成長させていくということをおっしゃっていて本当にその通りだなと思いながら聞いていました。 このクラスからも、三宅と田中のように…

スカイダイビングの話しで、逆に180km/h(200km/h)あれば浮けると言っていたことがえっ、確しかに!! だよねと新たな方向というか考え方にふれれた。なんというかうお、ときた。 Good!

ガリレオが「重い物体ほど速く落ちる」という思い込みを打ち破っていなければ現代ではスカイダイビングやウイングスーツなどは存在しなかったかもしれない。そう思うと、「疑問を持つ」ということは世界をひっくり返すほどの可能性を秘めているかもしれないし、疑問を持つことで新たな気付きを得られるかもしれない。 そういうことです!
ただ受動的にすべてを受け入れるのではなく、よく考えて疑問に思うことは重要だと学んだ。 Good!

「大きいもので早い映像にする」という課題も、言語化して説明されることによって自分の無意識の内に行っていた思い込みについて認識でき、面白かった。
大学で学ぶことのいくつかは、知っていることの言語化だと思います!

ガリレオのすごいところは、思い込みにとらわれないようにする考え方を生み出しただけでなく、中世ヨーロッパという思い込み、固定観念だらけの社会の中で、考え方を貫き通し、ひっくり返したことだと思う。 いい視点です!

また、速度を変えることで映像等の遠近法により距離を感じさせられるのではないかと考えながら映像を見ていました。 後日、お話しします!

もっと応用すれば、「真っ直ぐ歩かない人」は「酔っている」などもいえるのではないかと思った。 いろいろありそうですね!

が特に興味深かったです。 Good!
また、ガリレオが真空で実験ができなかったからその実験を諦めるのではなく、違う実験を作って仮説を検証していて代替案が考えられるのがすごいと感じました。 そうなんです!

「人は生まれながらにして科学者」とあったが、私たちは科学的な現象に日々ふれながら生きてきたため、それをあたり前だと認識してしまうほどの目と頭を養ってきてしまった。